



## 2018年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年5月11日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6090 URL http://humanmetabolome.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅野 隆二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 長谷川 哲也 TEL 03-3551-2180  
 定時株主総会開催予定日 2018年6月23日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2018年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年3月期の連結業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	938	2.6	△140	—	△149	—	△156	—
2017年3月期	914	17.1	△43	—	△40	—	△61	—

(注) 包括利益 2018年3月期 △148百万円 (—%) 2017年3月期 △63百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年3月期	△26.92	—	△8.8	△7.6	△15.0
2017年3月期	△10.86	—	△3.7	△2.2	△4.7

(参考) 持分法投資損益 2018年3月期 -百万円 2017年3月期 -百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	1,921	1,752	89.2	293.78
2017年3月期	2,022	1,859	91.4	317.98

(参考) 自己資本 2018年3月期 1,713百万円 2017年3月期 1,847百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年3月期	△178	△87	4	1,361
2017年3月期	45	△34	354	1,620

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100	17.2	△285	—	△285	—	△295	—	△50.59

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2018年3月期	5,831,300株	2017年3月期	5,809,700株
2018年3月期	34株	2017年3月期	—株
2018年3月期	5,815,090株	2017年3月期	5,701,567株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2018年5月17日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（日付の表示方法の変更）

「2018年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	16
(2) 役員の異動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、北朝鮮情勢等の地政学的リスクや米国・中国間の貿易摩擦への懸念などがあるものの、米国・欧州を中心におおむね堅調に推移しました。国内においても、企業収益や雇用環境等の改善が続き、緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループが属するライフサイエンス業界においては、医療・介護の効率化に向け、予防医療や個別化医療を推進する動きが増え、健康管理等へのニーズが世界的に高まっています。

このような状況の中、当社グループでは、メタボローム解析事業において、学会への出展やキャンペーンといった販促活動を中心に受注拡大に取り組むとともに、海外市場の拡大や新サービス開発等に注力してまいりました。

また、バイオマーカー事業においては、大うつ病性障害（以下「うつ病」といいます。）バイオマーカーの事業化に向け、研究用試薬キット及び測定機器の開発並びに臨床研究に向けた取り組みを推進しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、メタボローム解析事業の受注が堅調に推移したことから、938,178千円（前年同期比2.6%増）となりました。

一方で、うつ病バイオマーカー（PEA）の実用化・事業化に向けた投資を加速させたこと等により、研究開発費を中心に販売費及び一般管理費が増加したため、営業損失は140,914千円（前年同期は43,332千円の営業損失）、経常損失は149,703千円（前年同期は40,410千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は156,527千円（前年同期は61,913千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

	2017年3月期	2018年3月期	増減率
売上高	914,180千円	938,178千円	2.6%
営業損失（△）	△43,332千円	△140,914千円	－
経常損失（△）	△40,410千円	△149,703千円	－
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）	△61,913千円	△156,527千円	－

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

#### <メタボローム解析事業>

	2017年3月期	2018年3月期	増減率
売上高	913,458千円	936,027千円	2.5%
（内国内売上高）	798,269千円	779,817千円	△2.3%
（内海外売上高）	115,189千円	156,209千円	35.6%
セグメント利益	501,010千円	445,146千円	△11.2%

当事業セグメントにおいては、前期に引き続き積極的な販促活動を展開し、化学・製薬分野等において大口案件の受注拡大に取り組んだ他、解析サービスのラインナップ拡充に向けた研究開発活動を推進しました。海外においても大口案件獲得に取り組む、米国を中心に製薬・臨床分野からの受注が増加した他、オランダに現地法人を設立するなど、欧州での事業展開の加速にも取り組んでまいりました。また、中国での本格的な事業展開に向けた市場調査を実施するなど、アジア圏の市場拡大に向けた活動を行いました。この結果、売上高は936,027千円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は445,146千円（前年同期比11.2%減）となりました。

#### <バイオマーカー事業>

	2017年3月期	2018年3月期	増減率
売上高	722千円	2,150千円	197.9%
セグメント損失（△）	△198,005千円	△185,305千円	－

（注）本事業においては海外の売上高はありません。

当事業セグメントにおいては、うつ病バイオマーカーの実用化・事業化に向け、研究用試薬キットの性能評価や供給体制の整備、測定機器等の研究開発を継続しました。また、うつ病バイオマーカーの臨床性能試験に向け、フィジビリティ試験を実施する他、PEAに関連した論文が学術誌に掲載されるなど、うつ病バイオマーカーの認知度向上に取り組まれました。売上高に関しては、うつ病バイオマーカーに関連した共同研究の中で受託業務による収入があったため、2,150千円（前年同期比197.9%増）となりました。一方で、うつ病バイオマーカー関連の研究用試薬キットの性能向上・量産化に向けた技術開発や、臨床性能試験開始に向けた人員拡充・体制整備を行ったことにより販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント損失は185,305千円（前年同期は198,005千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,762,979千円となり、前連結会計年度末に比べ71,694千円減少しました。これは、売掛金が52,913千円、有価証券が100,190千円増加したものの、現金及び預金が258,962千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は158,367千円となり、前連結会計年度末に比べ29,005千円減少しました。これは、投資有価証券が101,062千円減少したものの、工具、器具及び備品が38,379千円、リース資産が28,830千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は122,038千円となり、前連結会計年度末に比べ23,481千円減少しました。これは、リース債務が6,703千円増加したものの、未払法人税等が27,733千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は46,592千円となり、前連結会計年度末に比べ29,477千円増加しました。これは、繰延税金負債が2,399千円減少したものの、リース債務が31,751千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,752,717千円となり、前連結会計年度末に比べ106,696千円減少しました。これは、資本金が7,203千円、資本剰余金が7,203千円、新株予約権が27,541千円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失156,527千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ258,962千円減少し、1,361,379千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは178,196千円の支出となりました。これは主に税金等調整前当期純損失149,173千円の計上、売上債権54,189千円の増加、減価償却費61,470千円の計上、法人税等支払額35,791千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは87,170千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出84,519千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4,907千円の収入となりました。これは株式の発行による収入14,257千円、リース債務の返済による支出9,282千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の世界経済の見通しは、米国経済を中心に引き続き拡大傾向にあるものの、金融市場におけるリスク回避姿勢の強まりや、保護主義的な圧力の高まりが見られるなど、依然として予断を許さない状況にあります。また国内経済においては、内外需とも回復の足取りはしっかりとしており、労働需給の逼迫を背景とした賃上げ等により、デフレ経済からの脱却が進むと予想される一方で、人口減少を背景とした潜在成長力の低下等の中長期的な課題への対応が迫られる状況にあります。

当社が属するライフサイエンス業界は、少子高齢化といった国内環境にあっても、成長が見込まれる数少ない分野の一つとして、研究開発投資が高水準で継続しており、今後も同様に推移することが想定されます。

このような状況のもと、当社グループでは、バイオマーカー事業において、最も期待度の高いパイプラインであるうつ病バイオマーカーの早期の実用化・事業化に引き続き経営資源を集中的に投下してまいります。具体的には、研究用試薬キットの開発に並行して分析機器を用いた測定技術の開発を推進するとともに、臨床性能試験に向けた研究会の発足・運営等に取り組んでまいります。

メタボローム解析事業においては、従来から注力している米国・欧州市場に加え、中国を中心としたアジア地域での事業展開を加速させ、グローバルな認知度向上を図ってまいります。また、国内においても新たな測定・解析プランの開発等を通じた新市場開拓に取り組んでまいります。

このような見通しのもと、次期の売上高については主力であるメタボローム解析事業において増収を見込んでおりますが、バイオマーカー事業においてうつ病バイオマーカーの早期の実用化・事業化に向けた投資を継続するとともに、メタボローム解析事業の中長期的な拡大に向けた測定機器の購入等の投資や人員の拡充を予定していること等から、結果として赤字幅が拡大する見通しであります。

なお、為替レートは、1米ドル110円を見込んでおります。

	2018年3月期（実績）	2019年3月期（見通し）	増減
売上高	938百万円	1,100百万円	17.2%
営業損失（△）	△140百万円	△285百万円	—
経常損失（△）	△149百万円	△285百万円	—
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）	△156百万円	△295百万円	—
米ドル平均レート	110.85円	110.0円	—

（注）当社グループの主力事業であるメタボローム解析事業は、医療機関・研究機関を中心とした多くの顧客の年度末に納期が集中することから、売上高が第4四半期に偏重する事業特性を有しております。従って、業績管理は年次で行っており、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績予想については投資家へ提供する情報としての適切性・有用性に問題が生じるおそれがあるため、業績予想は通期のみ記載しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、将来のIFRS適用に備え、社内外の動向や当社グループへの影響等について調査を行い、その適用時期等についての検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,520,341	1,261,379
売掛金	167,420	220,334
有価証券	100,000	200,190
商品	11,232	14,829
仕掛品	2,915	2,402
原材料及び貯蔵品	8,625	9,568
その他	24,138	54,274
流動資産合計	1,834,673	1,762,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,755	21,735
工具、器具及び備品	287,500	325,880
リース資産	108,061	136,892
減価償却累計額	△343,452	△344,778
有形固定資産合計	71,865	139,730
無形固定資産	4,480	8,936
投資その他の資産		
投資有価証券	101,062	—
その他	9,966	9,700
投資その他の資産合計	111,028	9,700
固定資産合計	187,373	158,367
資産合計	2,022,047	1,921,347
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4	66
リース債務	2,749	9,452
未払法人税等	35,244	7,510
その他	107,521	105,008
流動負債合計	145,519	122,038
固定負債		
リース債務	—	31,751
繰延税金負債	3,354	954
資産除去債務	13,760	13,885
固定負債合計	17,114	46,592
負債合計	162,634	168,630
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,447,484	1,454,687
資本剰余金	1,436,200	1,443,404
利益剰余金	△1,048,587	△1,205,115
自己株式	—	△67
株主資本合計	1,835,097	1,692,909
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,245	20,196
その他の包括利益累計額合計	12,245	20,196
新株予約権	12,070	39,611
純資産合計	1,859,413	1,752,717
負債純資産合計	2,022,047	1,921,347

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	914,180	938,178
売上原価	185,079	195,724
売上総利益	729,101	742,453
販売費及び一般管理費	772,433	883,368
営業損失(△)	△43,332	△140,914
営業外収益		
受取利息及び配当金	906	909
補助金収入	3,873	2,167
為替差益	2,001	—
受取賃貸料	1,000	2,000
その他	121	931
営業外収益合計	7,903	6,007
営業外費用		
支払利息	377	572
株式交付費	4,399	150
為替差損	—	13,686
その他	203	387
営業外費用合計	4,981	14,797
経常損失(△)	△40,410	△149,703
特別利益		
固定資産売却益	—	530
特別利益合計	—	530
税金等調整前当期純損失(△)	△40,410	△149,173
法人税、住民税及び事業税	23,929	9,753
法人税等調整額	△2,425	△2,399
法人税等合計	21,503	7,354
当期純損失(△)	△61,913	△156,527
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△61,913	△156,527



(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
当期純損失(△)	△61,913	△156,527
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,110	7,950
その他の包括利益合計	△1,110	7,950
包括利益	△63,024	△148,577
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△63,024	△148,577
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,253,941	1,242,658	△986,673	—	1,509,925	13,355	13,355	—	1,523,281
当期変動額									
新株の発行	193,542	193,542			387,085				387,085
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△61,913		△61,913				△61,913
自己株式の取得									—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,110	△1,110	12,070	10,960
当期変動額合計	193,542	193,542	△61,913	—	325,171	△1,110	△1,110	12,070	336,131
当期末残高	1,447,484	1,436,200	△1,048,587	—	1,835,097	12,245	12,245	12,070	1,859,413

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,447,484	1,436,200	△1,048,587	—	1,835,097	12,245	12,245	12,070	1,859,413
当期変動額									
新株の発行	7,203	7,203			14,407				14,407
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△156,527		△156,527				△156,527
自己株式の取得				△67	△67				△67
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						7,950	7,950	27,541	35,491
当期変動額合計	7,203	7,203	△156,527	△67	△142,188	7,950	7,950	27,541	△106,696
当期末残高	1,454,687	1,443,404	△1,205,115	△67	1,692,909	20,196	20,196	39,611	1,752,717

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失（△）	△40,410	△149,173
減価償却費	53,245	61,470
受取利息及び受取配当金	△906	△909
受取賃貸料	△1,000	△2,000
支払利息	377	572
為替差損益（△は益）	△2,630	7,510
補助金収入	△3,873	△2,167
株式報酬費用	12,070	27,541
株式交付費	4,399	150
売上債権の増減額（△は増加）	△14,415	△54,189
たな卸資産の増減額（△は増加）	3,040	△4,027
仕入債務の増減額（△は減少）	4	62
未払金の増減額（△は減少）	6,891	△1,046
未払費用の増減額（△は減少）	2,279	3,470
未払又は未収消費税等の増減額	△4,657	3,202
その他	28,077	△38,161
小計	42,493	△147,695
利息及び配当金の受取額	1,805	1,780
賃貸料の受取額	750	2,425
利息の支払額	△354	△572
補助金の受取額	3,062	2,209
補助金の返還額	△24	△552
法人税等の支払額	△2,532	△35,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,199	△178,196
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△31,603	△84,519
有形固定資産の売却による収入	—	3,000
無形固定資産の取得による支出	△3,395	△4,838
その他	792	△812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,205	△87,170
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△14,420	—
株式の発行による収入	382,685	14,257
リース債務の返済による支出	△13,604	△9,282
自己株式の取得による支出	—	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	354,660	4,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,164	1,498
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	367,819	△258,962
現金及び現金同等物の期首残高	1,252,522	1,620,341
現金及び現金同等物の期末残高	1,620,341	1,361,379

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 3社

連結子会社の名称

Human Metabolome Technologies America, Inc.

Human Metabolome Technologies Europe B.V.

HMTバイオメディカル株式会社

上記のうち、Human Metabolome Technologies Europe B.V. については、当連結会計年度において新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 非連結子会社

該当事項はありません。

2 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

a 満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）

b その他有価証券

時価のあるもの

投資信託のうち預金と同様の性格を有する有価証券については、移動平均法による原価法

② たな卸資産

a 商品

移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

b 仕掛品

個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

c 原材料及び貯蔵品

移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

当社及び国内連結子会社は定率法を、在外連結子会社は定額法によっております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 3年～18年

工具、器具及び備品 2年～10年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（3～5年）で償却しております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めております。

(5) 重要な繰延資産の処理方法

株式交付費

支出時に全額費用として処理しております。

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(7) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(報告セグメントの概要)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、CE-MS法によるメタボローム解析技術を基盤に事業を展開しており、そのサービス、製品、収益モデル等を勘案し、報告セグメントを「メタボローム解析事業」、「バイオマーカー事業」としております。

「メタボローム解析事業」では、顧客から受領した測定試料をメタボローム解析し、結果を報告する受託解析サービスの提供を、「バイオマーカー事業」では、バイオマーカーを用いて体外診断用医薬品や診断機器の開発を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	913,458	722	914,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	913,458	722	914,180
セグメント利益又は損失 (△)	501,010	△198,005	303,004
セグメント資産	260,103	48,365	308,468
その他の項目			
減価償却費	29,547	16,508	46,056
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	20,905	8,344	29,249

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	936,027	2,150	938,178
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	936,027	2,150	938,178
セグメント利益又は損失 (△)	445,146	△185,305	259,840
セグメント資産	454,274	54,807	509,081
その他の項目			
減価償却費	37,404	13,401	50,806
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	115,277	882	116,159

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	303,004	259,840
全社費用（注）	△346,337	△400,755
連結財務諸表の営業損失（△）	△43,332	△140,914

（注）全社費用は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	308,468	509,081
全社資産（注）	1,713,579	1,412,266
連結財務諸表の資産合計	2,022,047	1,921,347

（注）全社資産は、主に各報告セグメントに配分していない現金及び預金、有価証券等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額（注）		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	46,056	50,806	7,189	10,664	53,245	61,470
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	29,249	116,159	11,747	19,435	40,997	135,594

（注）1. 減価償却費の調整額と有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない東京事務所の供用資産に係るものであります。

2. 報告セグメントの減価償却費は、売上原価及び一般管理費に配賦されております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

日本	その他	合計
798,991	115,189	914,180

（注）1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. その他に属する国又は地域は、北米、欧州及び本邦を除くアジア地域であります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
781,968	156,209	938,178

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. その他に属する国又は地域は、北米、欧州、本邦を除くアジア地域であります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。



（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）	当連結会計年度 （自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）
1株当たり純資産額	317.98円	293.78円
1株当たり当期純損失金額（△）	△10.86円	△26.92円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

（注）1. 潜在株調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額（△）の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）	当連結会計年度 （自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）
1株当たり当期純損失金額（△）		
親会社株主に帰属する当期純損失（△） （千円）	△61,913	△156,527
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失（△）（千円）	△61,913	△156,527
普通株式の期中平均株式数（株）	5,701,567	5,815,090
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益金額の算定に含ま れなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類 （新株予約権の数1,398個）	新株予約権5種類 （新株予約権の数1,851個）

（重要な後発事象）

（ストック・オプション（新株予約権）の割当）

当社は、会社法第236条、第238条及び第239条の規定並びに2017年6月24日開催の当社第14回定時株主総会決議に基づき、2018年4月18日開催の当社取締役会において、新株予約権の割当を決議し、2018年5月7日に本新株予約権の割当を行っております。

新株予約権（ストック・オプション）の内容

1. 新株予約権の総数  
170個（新株予約権1個につき普通株式100株）
2. 新株予約権の払込金額  
新株予約権と引換えに金銭を払い込むことを要しない。
3. 新株予約権の目的である株式の種類及び数  
当社普通株式 17,000株
4. 新株予約権の行使に關しての払込金額  
1株につき2,043円
5. 新株予約権の行使期間  
2020年5月8日から2025年5月7日まで  
割当日後2年を経過した日から5年間とする。
6. 新株予約権の割当対象者及び割当数  
当社の従業員 2名 170個

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	3,948	70.6
合計	3,948	70.6

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、メタボローム解析事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボローム解析事業及びバイオマーカー事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	18,580	172.4
合計	18,580	172.4

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、メタボローム解析事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボローム解析事業及びバイオマーカー事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	1,004,228	108.9	177,217	162.6
バイオマーカー事業	2,150	297.9	—	—
合計	1,006,379	109.0	177,217	162.6

(注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	936,027	102.5
バイオマーカー事業	2,150	297.9
合計	938,178	102.6

(注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 役員の異動

① 代表者の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

開示内容が定まった時点で開示いたします。